

研修・会議等報告書

平成30年10月18日

テーマ	地域包括ケアシステムに関わる多職種による症例検討会		
日時	平成30年10月14日(日)	場所	さいたま共済会館 501 502
主催者	埼玉県薬剤師会	費用	無料
講師	埼玉県薬剤師会 池田里江子先生 埼玉県福祉部地域包括ケア課 根本美貴子様 埼玉県薬剤師会 関谷陽子先生	出席者	歯科医師 三木昭代先生 理学療法士 荒木友希先生 栄養士 西文先生 社会福祉士 斉藤真理子先生 埼玉県薬剤師会会員

内 容
<p>スケジュール（プログラム等）</p> <p>① 埼玉県が実施するモデル事業の内容及び地域ケア会議の位置づけ ② 地域ケア会議における薬剤師の関わり方 ③ 模擬地域ケア会議 ④ SGD 「薬剤師としてどう助言しますか？」</p>
<p>概要</p> <p>2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来るよう、医療介護・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制（地域包括ケアシステム）の構築が重要。</p> <p>地域包括ケアシステムは保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき地域の特性に応じて作り上げていくことが必要。</p> <p>地域ケア会議は、高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備とを同時に進めていく、地域包括ケアシステムの実現に向けた手法。地域包括支援センターまたは行政が開催する。</p> <p>地域ケア会議における薬剤師が行う確認・助言のポイント</p> <p>①事例の理解(現在の状況・過去から現在に至る経過・服薬状況や服薬までの流れ) ②課題の明確化(食事の形態・検査値から薬剤の効果影響を見極める・医師の指導内容とプランが合致しているか・服用しないことによる問題とリスクの把握) ③実践につながる助言の提供(家族やヘルパーと患者の実現可能な服薬提案・服用している薬についての情報共有・医師への確認事項の整理)</p> <p>模擬地域ケア会議では「同居家族の虐待」の困難事例をテーマとして、グループディスカッションを行ない、薬剤師としてどう助言するかを各グループごとに発表した。</p>
<p>所感</p> <p>模擬ケア会議においては、薬のことだけではなく患者さんを取り巻く環境や生活スタイルなどを踏まえ、広い視点を持って考えアドバイスをしていくことが必要だと感じた。</p>
<p>歯科医師の三木先生より</p> <p>入れ歯洗浄剤・安定剤を販売している薬局へ</p> <p>入れ歯は取り外したらブラシで汚れを落としてから洗浄剤につけ、装着前にはよく水洗いすること。 安定剤には、粉・シート・クリーム・クッションタイプがあるが、それぞれの味についても説明をして販売をして欲しい。</p>